

秋田杉桶樽の伝統工芸士



▲津谷市長に伝統工芸士に認定されたことを報告する佐藤秋男さん

●佐藤秋男さんが認定の報告

伝統的工芸品「秋田杉桶樽おけたる」の伝統工芸士に認定された佐藤秋男さん（61歳・浦田）が4月12日、市役所を訪れ津谷市長に認定を報告しました。

伝統工芸士は、全国の伝統的工芸品産地において、伝統的技術・技法に熟練した従事者の中から厳しい認定試験に合格した者に対して、経済産業大臣が認定する称号で、各産地を代表する最高の技術保持者です。

佐藤さんは昭和63年に大館市の桶樽製造業・日樽に入社し、桶樽づくりに必要な高度な技術を磨いてきました。認定を受け佐藤さんは「まだまだ覚えることはたくさんあるので、これから精進して前に進んでいきたい」と抱負を述べました。

交通事故が減少するように



▲160人が参加し、交通安全を呼びかけた鷹巣地区総決起集会

●春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動が4月6日から15日まで実施され、市内各所でも総決起集会や交通安全パレード、街頭キャンペーンなどが行われ、市民に交通事故防止を訴えました。

このうち、6日に市役所前で行われた鷹巣地区総決起集会には、北秋田警察署をはじめ行政関係者、鷹巣地区交通安全管理者協会、交通安全母の会、交通指導隊などから約160人が参加しました。

集会で鷹巣地区交通安全協会の近藤直夫会長が「運動を実施しながら交通事故を1件でも減らしたい」などといさつ。その後、警察車両を先頭に交通安全パレードを実施して、沿道の市民に交通安全を呼びかけました。

マナーは思いやる気持ちで



▲向かい合って、あいさつの仕方を練習する参加者

●新人社員合同研修会

北秋田市商工会（伊藤公夫会長）主催の新人社員合同研修会が3月21日、産業会館で開かれ、4月から市内の企業などに入社する41人が接遇マナーを学びました。

講師の㈱北都銀行人事部の伊藤末子さんが、言葉づかいや電話対応、来客対応などを指導。伊藤さんは「マナーは相手を思いやる気持ち、心配りがあれば身につけることができます。年齢が経てば身に付くというものではないので、普段の生活や仕事で常に意識して実践してください」とアドバイスをしました。

参加者は、学んだことを職場での実践につなげようと、真剣な表情で受講していました。

期待に胸を膨らませて



▲上級生の持つ花のアーチをくぐって会場を後にする、前田小学校の新一年生

●市内各小学校で入学式

市内の多くの小学校では、4月8日に入学式が行われ、新しく学校生活をスタートさせる新入生が期待に胸を膨らませて式に臨みました。

このうち前田小学校（嶋田美香校長・児童数69人）には、昨年度で閉校した浦田小学校から5人が仲間入りするとともに、新一年生9人が入学しました。式では、保護者や教職員、地域の方々が温かく迎えるなか、新一年生がお兄さんやお姉さんに手をひかれながら、やや緊張した面持ちで会場の体育館に入場。新入生紹介では、一人一人の名前が点呼されると元気な声で「ハイ」と返事をしていました。

今年度は、市内13の小学校に197人の元気な新一年生が誕生しました。

安心安全な地域社会を



▲虻川副市長が防犯指導員一人一人に委嘱状を交付

●防犯指導員・交通指導員委嘱状交付式

北秋田市防犯指導員と交通指導員の委嘱状交付式が4月4日、中央公民館で行われ、市長職務代理者の虻川副市長が指導員一人一人に委嘱状を交付しました。

防犯指導員は犯罪及び事故のない明るい社会づくりを推進するため、また、交通指導員は道路交通の安全を保持するため、様々な活動を行っています。

このうち防犯指導員の交付式では、42人に委嘱状を交付した後、虻川副市長が「地域全体で犯罪が発生しにくい環境を作り上げることがポイントとなります。共に安全安心な北秋田市を構築していきましょう」などとあいさつしました。

両指導員の任期は2年間です。

火災に備え技術の向上を



▲水のアーチが連なった、鷹巣中央公園での一斉放水訓練

●市消防団一斉放水訓練

北秋田市消防団（金田咲美団長）と婦人消防隊による一斉放水訓練が4月14日、市内4地区で行われ、団員たちが有事に備えたきびきびとした動作で訓練に臨みました。

訓練は、消防ポンプ等の点検と技術の向上を図る目的で、鷹巣中央公園、上杉農村運動公園、米内沢シヨッピンモール下の阿仁川河川敷駐車場、阿仁湯口内地区を会場に行われました。

鷹巣中央公園で行われた訓練では、鷹巣分団と鷹巣婦人消防隊、市消防本部から合わせて約330人が参加。早朝の肌寒いなか、団員らはポンプ車や小型動力ポンプを機敏に操作しながら、放水開始の合図とともに公園の池に向かって一斉に放水しました。